

平成30年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

**All for one, and one for all. No.22**

### H30. 5. 7 「2年次進路講座&キャリア集会」

ゴールデンウィーク明け最初の集会は、国公立大志望者を対象とした「進路講座」です。130名程の生徒たちが参集し、「この一年をどう過ごすか」を真剣に考えました。

2年次では「今すべきこと」を一覧にし、計画をより実践に移しやすいよう「キャリアノート」を作成しながら進路実現を図ります。

また9日には、最新の進路情報を伝える「キャリア集会」を実施し、将来への道筋や進路目標の実現に必要な科目選択などについて説明しました。

ガイダンスは生徒個々の進路を明確にするだけでなく、生徒相互のやる気を引き出します。

2年次という時間は限られています！今やるべきことを後回しにすれば夢は叶いません！そして、自分の人生は自らの努力で切り拓いていくものです！

無理のない計画を確実に実践していけば、必ず「輝かしい未来」が拓けていくはずですよ。



**All for one, and one for all. No.23**

### H30. 5. 9 「保護者進路説明会」

本校では、生徒対象のガイダンスに併せて、保護者対象のガイダンスにも力点を置いています。2年次生保護者を対象にした今回のガイダンスには、200名近い方々がご来校くださいました。生徒と同じ最新の進路情報を共有していただくことで、早期からお子様との進路相談を深めていくことができます。



この日は、進路情報に加え、今後の選択科目決定までの道筋についても併せて説明させていただきました。

社会状況が大きく変化している昨今、生徒一人一人が進路の幅を拓け、潜在的に持つ資質能力を最大限に発揮できる将来像を描いていく上で、保護者の皆様のご理解が不可欠です。是非お子様とともに未来を語っていただきたいと思っています。

**All for one, and one for all. No.24**

### H30. 5.10 「ふれあい看護体験」

今年度も恒例の「ふれあい看護体験」に参加させていただきました。市内10カ所の病院のご協力を得、看護師を目指す2年次・3年次生総勢75名がそれぞれの医療機関でお世話になりました。

キャリア教育で最も重要なのは「体験学習」です。目標としている職種に実際に触れることで、その仕事の難しさや厳しさ、そしてやりがいを直に肌で感じとることができます。社会に貢献するということの本来の意味の体得は大きな成長に繋がります。

この貴重な経験を今後の高校生活に必ず活かしてくれることを期待しています。お忙しい中ご協力いただきました関係各位には、心より感謝申し上げます。



### All for one, and one for all. No.25

#### \*エイリョウ・アラカルト 「念願の生徒会執行部との懇談が実現しました」

生徒会の皆さんと、懇談の機会を持つことができました。教育活動の一翼を担っている生徒会は、全校生徒の代表として年間を通じて様々な活動を運営しています。



学校は「教師と生徒が一緒になって創っていくもの」というのが私の持論です。創造力豊かな生徒の生の声ほど新鮮なものはありません。もちろん要望や意見を全て実現することは困難かもしれませんが、課題を一緒に考え、共に解決していくプロセスこそが大切なのだと考えます。

新しいアイディアは、また新たな発想を生み出します。生徒たちはその経験の積み重ねから思考力や判断力を培い、自主性を身につけていくものと思います。

生徒会の皆さんとの懇談はとても楽しく、予定の時間をあっという間に終えてしまいました。この場にいる皆さんが先頭に立って「新生永嶺高校の足跡」を築いていくことを思うと、とてもワクワクします。「頑張ってください、応援しています！」



### All for one, and one for all. No.26

#### H30. 5.11 「前期生徒総会」

平成30年度「前期生徒総会」が開催され、今年度の活動計画や生徒会予算案、学校祭原案などの提示について、全体での審議が行われました。他にも、新入生オリエンテーション、各種ボランティア活動、異校種間交流、体育大会、全道サミット会場、生徒会フォーラム、美化活動、標語コンクール、機関誌の発行等、生徒会行事は年間を通して盛り沢山です。在校生からも意見や要望があり、生徒の主体性が光る総会となりました。



特に生徒会長 関根 唯さんの言葉に端を発した生徒主体による「いじめ根絶宣言」は、全校生徒の心に響いたことと思います。

宣言文は全ての教室に掲示され、全校生徒の中にも「いじめを絶対に許さない」という風潮が根付いてきました。ここにも永嶺生の誇りを垣間見た感があります。



All for one, and one for all. No.27

### H30. 5.11 「交通安全集会」

4月に実施した「交通安全教室」では、グラウンドを使用し「車と自転車が衝突」する実演を視覚的に体験することで交通事故の恐ろしさを身近に感じてもらいました。



今回は、生徒が主体となり悲惨な交通事故を絶対に起こさないための「交通安全宣言」を、生活常任委員長の 大野 皓平君が読み上げてくれました。

交通事故は、「自分は大丈夫」と思っているつもりでも降りかかってくるものです。被害者にならないことはもちろんですが、自転車走行による加害者にならないことにも注意をしなければなりません。あらゆる交通事故から身を守ることを決して忘れないでください。

また、交通マナーを守ることは自分自身を守るだけでなく、その行為を真似る小さな子どもたちの命を守ることに繋がります。悪いマナーを真似た小さな子どもたちには、高校生のような危機回避能力は備っていません。本校の生徒には常に模範であって欲しいと思います。

All for one, and one for all. No.28

### \*エイリョウ・アラカルト 「いよいよ高体連が始まります」

11日（金）から春の高校野球支部予選がスタルヒン球場で開幕しました。11対10の乱打戦を制した選手の姿には、最後まで絶対諦めないという気迫が漲っていました。

この大会を皮切りに、各種目の高体連支部予選会が次々と開催されます。昨年度は、体育系部活動のほとんどが全道へと駒を進めました。今年度も楽しみがいっぱいです。日々の練習の成果を思う存分発揮し、悔いの残らない試合をしてきてください。



All for one, and one for all. No.29

### H30. 5.15~17 「宿泊研修」

1年次の大きな行事の一つ「宿泊研修」を、国立大雪青少年交流の家で実施しました。この行事は、多様な講義や体験を通じて今後の高校生活の在り方を考えたり、クラスや年次の結束を固めることを主眼に実施しているものです。

生徒は、2泊3日の規則正しい生活を心がけ、どの研修にも主体的かつ協働しながら積極的に臨んでいました。



高校生活の過ごし方、進路や科目選択の理解、学校祭のテーマ決め、振り返りの文章表現など知識を深め思考する研修、スポーツレクリエーションやハイキング、構成別グループエンカウンターなど身体を動かしながらコミュニケーション能力を高める研修、合唱コンクールやキャンドルサービスのように豊かな心を醸成する研修など、短い期間の中で実に多くのことを体得したことと思います。



生徒の皆さんには、この体験を通して学び感じとったことを、戻ってからの高校生活に必ず活かして欲しいと思います。そして充実した3年間を送ってくれることを心から願っています。



All for one, and one for all. No.30

### H30. 5.21 「第1回PTA合同委員会」

本部役員をはじめ、生活・庶務・広報の各委員の皆様による「PTA合同委員会」を開催しました。総会で新たに会長となられました 工藤 瀧也さんから新年度の活動方針が述べられた後、各種委員会に分かれ取組の詳細について話し合いが行われました。



「年次委員会」では情報交換と親睦を目的とした会合日程について、「生活委員会」では学校祭での食券販売について、「庶務委員

会」では食をテーマにした研修内容について、「広報委員会」では永嶺たよりの内容と発行時期についてなどを中心に熱心な話し合いが行われました。

また、本部役員は学校祭時の模擬店メニュー(PTAによる出店)などについても話し合いが行われました。

教職員と保護者が共通の目的を持ち、一緒に取り組むことの意義は大きいと思います。互いの信頼関係の中で子どもの成長に係る情報交換はもちろん、日頃の教育環境や学校への要望等などについてもフラクナ意見交換が可能となります。今後も、学校と家庭が手を携え、子どもの成長にいかに関わるべきかを共に考えていきたいと思ひます。



【各年次懇親会の予定】 多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています！(後日案内)

●1年次：7/21(土) ●2年次：報告会も兼ねて見学旅行後 ●3年次：7/13(金)

### H30. 5.23 「海外派遣研修報告会」

本校の学校教育目標「国際的視野を持つ社会に有為な人材の育成」の一貫として、「国際交流」を特色の一つとして推進しています。



留学や短期海外派遣、海外留学生との文化交流、関係機関と連携した国際貢献など、多くの生徒が関れる機会を設けてきました。

今回の報告会では、3月末に韓国水原（スウォン）市に短期研修に行ってきた2年次生谷村 礼菜さんと 遊佐 七海さんの二人から交流事業について報告してくれました。

（司会進行も生徒です）

海外に一步踏み出すことは勇気がいることかもしれません。しかし、他国の歴史や文化を知ること、自国をより深く理解することにも繋がります。さらに互いを敬い、力を合わせて未来を創造していく協働精神にも発展していきます。

これからは世界と関わりを持ちながら生きていく時代です。今後もグローバル教育の促進に努めていきたいと考えます。



### H30. 5.24 「花いっぱい運動」

地域との連携事業の一貫として行っている地域緑化運動に「花いっぱい運動」があります。学校が存する永山地区町内会と連携し、環状線沿いにマリーゴールドやサルビアを植え、明るくきれいな環境を作ろうという取組です。



平成11年度からの恒例事業で、学校周辺は美しい黄色とオレンジ色に包まれます。本校ではこの取組に併せ「交通安全啓発運動」も行っています。

保健委員と生活委員の63名が「苗植・散水・交通安全該当啓発」を分担し行ってくれました。3年次生の山本 さくら 保健委員長、大野 皓平 生活委員長を中心に、関わってくれた全生徒が最後まで真剣に、丁寧に、そして地域への感謝の気持ちを持って取り組んでくれました。



「とても立派でした！」  
「大変お疲れ様でした！」  
「心からありがとう！」

### H30. 5.28 「春季避難訓練」



火災を想定した「避難訓練」を、北消防署の皆様にご指導をいただきながら実施しました。全校生徒800名以上の一斉避難に不安もありましたが、それも杞憂に終わり、生徒たちは速やかに行動を起こし短時間で避難場所へと移動しました。

火災に限らず、災害は予期せぬ時に突然襲ってきます。そんな時、人は冷静な対応が瞬時にできず戸惑い、集団心理で時に誤った行動に流されたりするものです。避難訓練は日頃から自己危機管理を持ち「意識的」に行動を起こす訓練でなければなりません。

今日の生徒の一連の動きは概ね良好でありました。大切なことは、全員が危険を回避し無事に避難できるよう一人一人が自覚を持って行動することです。



### H30. 5.30~31 「高体連剣道大会」

「第64回北海道高等学校体育連盟剣道競技 旭川大会」を本校が当番となり開催しました。本校剣道部主将の松尾 貫平 君の選手宣誓に始まり、1日目は個人戦、2日目は団体戦と、二日間にわたり気迫溢れる真剣勝負が繰り広げられました。



強豪揃いの混戦の中、本校3年次生の後藤 晴也 君が見事「個人優勝」を果たしました。後藤君の竹刀裁きは素人目にも群を抜いており、スピード、技術、タイミングなどいずれも申し分なく、堂々とした勝ちっぷりでした。

また、団体戦も落ち着きある安定した剣道を貫き、こちらも「優勝」を果たしてくれました。当番校としてこれほど嬉しいことはありません。

今後はこの地区の代表としてさらに研鑽を積み、全道出場を果たせなかった選手の分まで頑張ってきて欲しいと思います。全道は6月に網走を会場に行われます。

